

## <資料 6>

令和2年8月26日  
定例記者会見資料

### 特別定額給付金給付事務における AI-OCR、RPA の活用による

#### 業務効率化の実現と今後の展開

特別定額給付金給付事務において、迅速な給付を実現するために AI-OCR※1 及び RPA※2 を活用し、1日最大 6,000 件、合計約 74,000 件の申請情報入力業務を効率化しました。

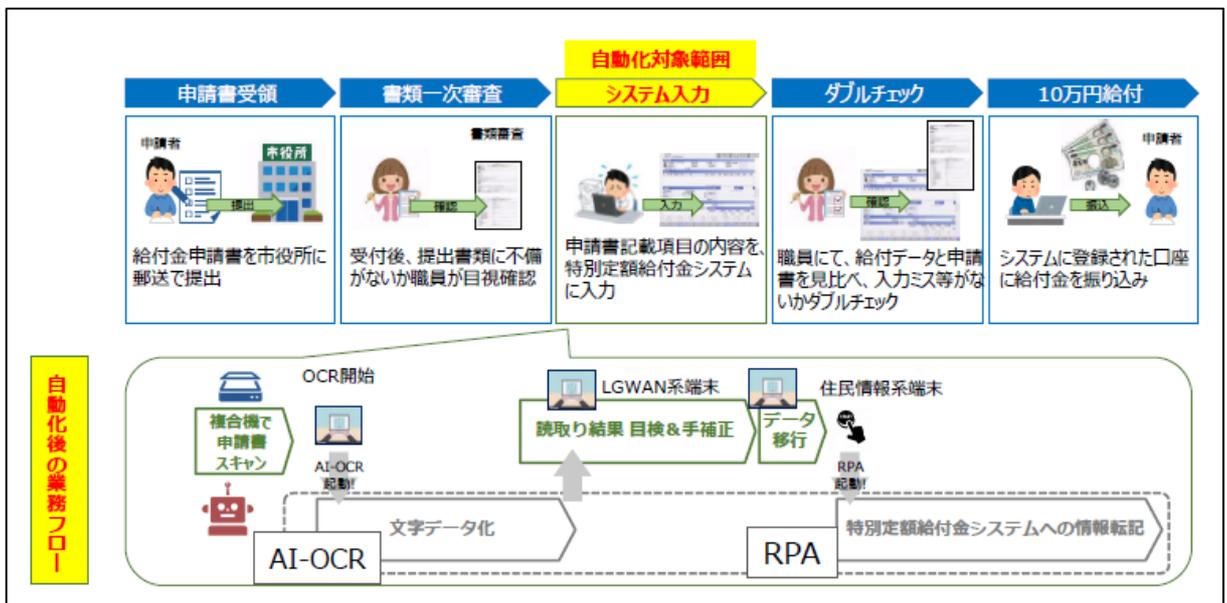
#### ■背景：

- ・特別定額給付金（1人当たり 10 万円給付）の迅速な給付を実現するために、膨大な量の申請情報入力業務に要する、時間と人手の確保が課題であった。
- ・武蔵野市第六期長期計画に掲げる「ICT の活用による業務生産性と市民サービスの向上」の実現に向けて、AI と RPA を活用した業務効率化の検討を進めていた。

#### ■内容：

- ・紙の申請書を AI-OCR の文字認識技術により電子データ化し、システムへの入力作業を RPA で自動化する業務フローを確立したことにより、早期の給付と業務効率化を実現した。

#### 【自動化イメージ】



#### ■効果：

- ・「手入力作業」と「AI-OCR と RPA による作業」を比較した結果、約 75%（約 43.8 日分の作業に要する時間の削減効果が得られた。

裏面有り

- ・ 郵送申請開始後の7日間で受領した約46,000件（全対象者の60%強）の申請書情報の入力を11日間で完了。
- ・ AI-OCRとRPAを活用することでヒューマンエラーのない正確なデータ入力を実現。
- ・ 入力作業のシステム化により、人にしかできない書類審査、電話案内等の業務に集中的に人員配置を実現。

■ 給付状況：

- ・ 郵送申請とオンライン申請を合わせて、約76,000件（全体の約98%）の給付が完了（8月21日振込時点）。

■ 今後の展開：

- ・ 特別定額給付金事業で培った経験を活かし、「AIとRPAを活用した業務改善プロジェクト」を進める。
- ・ 業務改善が可能な対象業務の選定後、業務プロセスの可視化、業務フローの見直し、帳票の最適化と共に、AI・RPAを活用して業務生産性の向上を進める。

■ 問い合わせ

特別定額給付金事業	総合政策部企画調整課	0422-60-1975
AI、RPAの活用	総務部情報管理課	0422-60-1805

- ※1 AI-OCR=AI (Artificial Intelligence) と OCR (Optical Character Recognition/Reader) の頭文字で、手書き書類や帳票の文字読取を行い、データ化するAI技術を使ったOCRサービス。
- ※2 RPA=Robotic Process Automation の頭文字で、業務プロセスを自動処理するソフトウェア。